

◎消防力を保つ組織づくりについて

問 消防団では、新入団員の確保が厳しい中、消防力を保つために、定数の変更や組織の再編を考えているか。

答 引き続き消防団と連携し、時代にあつた望ましい消防団の体制づくりに努めていきたい。

◎白雲荘と風見の丘の関わりについて

問 白雲荘は、年配者の唯一の楽しみ場所である。今後の運営方針はどうか。

答 風見の丘には多目的室があり、白雲荘と同様に老人クラブでも使用できる。白雲荘については、風見の丘の利用状況を検証しながら、今後のあり方について検討していきたい。

◎次期介護保険料の計画・見直しはどうか

問 介護保険料が県下最高額であるが、次期介護保険料の計画・見直しはどうか。

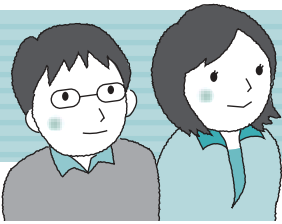
答 第四期保険料設定時に見込んだ介護給付費内で推移している。そのため、次期保険料は、給付費の動向などによる不確定要素はあるが、現状の保険料の維持に努めていきたいと考えている。



高齢者の憩いの場となっている白雲荘

よりよいまちづくりをめざして

市政に対する一般質問



◎地域再生にこそ「市民と行政の協働」を

問 「市民と行政のパートナーシップの推進」方針は、効率性を最優先した行政改革など、行政の都合から提案されたものではないか。

答 多様化する市民ニーズや、地域ごとに異なる課題への対応には、行政中心のサービス提供では限界がある。健全で継続的な発展のため、最もふさわしい手法であると考えている。

問 「地域住民の自らの判断と責任」が強調されているが、地域への責任転嫁や押しつけにならないか。

答 市民自らが、主体性をもって地域のまちづくりに関わること、喜びや自信を得ることができるようになりたい。

◎資源ごみ収集所の増設を

問 高齢者の方にも配慮し、分別の簡素化、体積の縮小化とともに、収集所を増設できないか。

答 収集場所の確保や維持管理、収集時の当番などの課題はあるが、高齢者の方の困難も予想されるため、自治会とも協議し、対応を検討していきたい。



地域の協力が欠かせない資源ごみ収集